

持続可能な発展へ新たな施策展開

ひらかた万博・特殊詐欺対策・ゼロカーボン推進・樟葉駅前環境整備

市は、将来にわたって市民が幸せを実感でき、かつ持続可能な発展を目指して、令和6年度当初予算案において新たな施策を展開する。多様な主体との共創で地域経済の活性化やまちの魅力を高める「ひらかた万博」の取り組みをさらに推し進めるべく、先端技術や市の観光資源・特産品を一堂に集めたイベント開催やインバウンドの誘客を目的とした市内周遊モデルツアーを企画・実施する。また、高齢者を中心に被害の増加が課題となっている特殊詐欺への対策として、不審電話を録音できる機器を無料で貸与を行う。警察機関との連携による周知啓発を図り、効果的な対策につなげる。また、2050年ゼロカーボンシティの実現に向け、太陽光発電設備やEV等の導入を支援する補助金制度を創設。市域全体に脱炭素の取り組みを広げる。令和5年度中から環境整備工事を進めてきた樟葉駅前広場については、天然芝生の賑わい空間として5月から共用を開始する。公民連携により維持管理財源を確保しながら、民間事業者の創意工夫によるイベント・催しを開催していくことで持続的な賑わい空間を創出する。

★ひらかた万博の推進 3,513万円

観光資源・特産品、先端技術を一堂に集めたイベントを開催。グリーンスローモビリティによる自動運転の試験運行や空飛ぶクルマの機体展示など未来への期待を実感できるコンテンツとともに、市内外に向けまちの魅力を強力に発信する。また、枚方宿地区や東部地域の里山など市の観光資源をつなげ、インバウンドの誘客を目的としたモデルツアーを実施し、大阪・関西万博を契機としたさらなるまちの魅力創造・発信のため、外国人観光客のニーズ把握や受け入れ環境に関する課題抽出に取り組む。

＜問い合わせ＞ 政策推進課 電話 072-841-1149、FAX 072-841-3039

★特殊詐欺への対策強化 1,050万9千円

65歳以上の高齢者世帯を対象に、不審電話を録音できる機器を貸与する。総台数700台を用意し、警察機関との連携で対策の必要性啓発と制度の周知に努める。また、固定電話に取り付ける簡易型録音機（3000個を用意）の配付も並行して行う。



＜問い合わせ＞ 危機管理政策課 電話 072-841-1147、FAX 072-841-3092

★「ひらかたゼロカーボン」推進 8,052万4千円

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向け、太陽光発電設備・蓄電池、コージェネレーションシステム、高効率給湯器、EV等の導入支援として「ひらかたゼロカーボン推進補助金」を家庭や事業者に交付し、市域全体に地域脱炭素の取り組みを拡げる。

<問い合わせ> 環境政策課 電話 050-7102-6003、FAX 072-849-1206

★樟葉駅前に芝生広場オープン 1,200万円（維持管理経費）

樟葉駅前広場については、令和5年10月から環境整備工事を進めており、天然芝生の養生を終える5月頃に供用を開始する。同広場は道路法上は道路となっているが、賑わいのある道路空間を構築するための規制緩和手法である「ほこみち制度」を活用し、今後、歩行者が滞留するイベント開催等により、民間の創意工夫を生かし持続的な賑わい空間の創出に取り組む。芝生広場の維持管理にあたっては広場のネーミングライツを募集したほか、デジタルサイネージを設置し広告収入により財源を確保していく。



▲ネーミングライツにより愛称は“ハピネスパーク KUZUHA グラススクエア”に決定

<問い合わせ> 土木政策課 電話 050-7102-6505、FAX 072-841-4605